

令和5年度 経営改革プラン

| | |
|-----|----------------|
| 団体名 | 株式会社神戸商工貿易センター |
|-----|----------------|

| | | |
|------------|--|------|
| 設立年月日 | 昭和42年8月5日 | |
| 団体の設立目的・沿革 | <p>当社は、神戸開港100年を記念し、神戸市、神戸商工会議所をはじめ地元経済界からの出資を受け、超高層ビル「神戸商工貿易センタービル」を建設し、管理運営を行うことを目的に設立された（令和3年度末株主数91名）。</p> <p>昭和44年11月に開業の後、平成10年12月に、隣接する展示場「神戸サンボホール」を神戸市・兵庫県から買取り、平成12年4月に、「神戸ファッションmart」の営業用資産を経営破綻した民間企業から買取り、土地建物は神戸市から40年間の使用貸借により事業を承継し、今日に至る。</p> | |
| 団体の主な事業内容 | 事業名 | 所管局 |
| | 神戸商工貿易センタービルの管理運営 | 自主事業 |
| | 市内企業等のソフトウェア開発支援施設の整備 | 自主事業 |
| | 神戸サンボホールの管理運営 | 自主事業 |
| | 神戸ファッションmartの管理運営 | 自主事業 |
| | 起業家・ベンチャー企業の支援 | 自主事業 |
| | ファッション産業の振興 | 自主事業 |
| 代表者 | 代表取締役社長 鳥居 聡 | |

| 役職員数 (令和6年7月時点) | 取締役 | | 監査役 | | 職員 | | 合計 |
|--------------------|-----|-----|-----|-----|----|----|----|
| | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 | 有期 | 無期 | |
| 団体固有職員 | - | - | - | - | | 20 | 20 |
| 神戸市派遣職員 | - | 1 | - | - | | 1 | 2 |
| 神戸市OB職員 | 2 | - | 1 | - | 3 | | 6 |
| その他 | - | 7 | - | 2 | 5 | - | 14 |
| 合計 | 2 | 8 | 1 | 2 | 8 | 21 | 42 |

| 財務状況（単位：百万円） | 令和5年度 | 令和4年度 | 差引 |
|--------------|-------|-------|-------|
| 経常損益 | 524 | 527 | ▲ 3 |
| 税引後当期純利益 | 360 | 360 | 0 |
| 販売費及び一般管理費 | 316 | 291 | 25 |
| 流動資産 | 3,053 | 3,096 | ▲ 43 |
| 流動負債 | 575 | 770 | ▲ 195 |
| 長期借入金（固定負債） | 128 | 234 | ▲ 106 |
| 期末現金預金残高 | 2,937 | 3,015 | ▲ 78 |

■ 中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針 2025 期間中のミッション）

| | |
|--------|---------------------|
| ミッション① | 安全・安心・快適なオフィス環境等の提供 |
| ミッション② | 公益貢献の取り組み強化 |
| ミッション③ | 勤務条件の見直しと人材育成 |

■ 短期的なミッション（令和 5 年度のミッション）

| | |
|--------|--------------------|
| ミッション① | 新たな顧客獲得に向けた取り組みの強化 |
| ミッション② | IT活用等による業務の効率化 |

■ 経営指標（令和 5 年度）

| 経営指標 | | | | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 | 前年度比増減 | 令和 4 年度実績中小企業実態基本調査による業種別平均値 |
|------------|------------------|--------------------------|---------------------------------|---------|---------|-----------|------------------------------|
| 人的パフォーマンス | 職員一人あたり純利益 | 純利益/職員数 | 職員 1 名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円) | 12.004 | 12.009 | 0.0ポイント | 3.191 |
| | 経常費用人件費比率 | 人件費/経常費用×100% | 経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。 | 12.80% | 14.03% | 1.2ポイント | 15.42% |
| 財政的パフォーマンス | 総資本経常利益率 | 経常利益/総資本×100% | 経常的な収益性はどの程度見込まれるか。 | 5.31% | 5.29% | 0.0ポイント | 2.60% |
| | 流動資産回転率 | 売上高/流動資産×100% | 流動的な資金が効率的に運用されているか。 | 74.24% | 75.00% | 0.8ポイント | 73.91% |
| 財政安定性 | 流動比率 | 流動資産/流動負債×100% | 短期的な資金をどの程度確保できているか。 | 402.11% | 530.89% | 128.8ポイント | 159.09% |
| | 自己資本比率 | 自己資本/総資本×100% | 団体固有の資本がどの程度あるか。 | 77.97% | 81.38% | 3.4ポイント | 38.86% |
| 持続性 | 自己資本当期純利益率 (ROE) | 当期純利益/純資産×100% | 資本を効率的に運用しているか。 | 4.66% | 4.47% | ▲0.2ポイント | 5.81% |
| | 純資産増加率 | (当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100% | 純資産が持続的に増加しているか。 | 4.27% | 4.10% | ▲0.2ポイント | 23.49% |

■ ミッション工程表

| ミッション名 | | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度～ | | | | | |
|---------------------|---|------------------------------|----|--------------------------|-------------------|----|----------|--------|-----|-----|------------|----|------|
| 中長期的ミッション | | | | | | | | | | | | | |
| 安全・安心・快適なオフィス環境等の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・多様なニーズに応じた良質なサービスの提供 ・安全・安心・快適なビジネス環境の整備 ・経営改善の着実な取り組み ・経営環境の変化に対応した機動的な経営 | | | | | | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・利益の継続的な確保による公益貢献の強化の検討、実施 (配当、協賛、施設管理負担金の拠出、地域活性化への参画など) | | | | | | | | | | | | |
| | 社員への意見聴取、課題整理、勤務条件統一案(人事評価、定年延長含む)の検討 | | | 勤務条件統一案の社員提示、最終調整、社内規程改正 | | | 新制度の運用開始 | | | | | | |
| 勤務条件の見直しと人材育成 | | 人材育成施策(インセンティブ、人事交流のあり方等)の検討 | | | 人材育成施策案の社員提示、最終調整 | | | | | | | | |
| ミッション名 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 短期的ミッション | | | | | | | | | | | | | |
| 新たな顧客獲得に向けた取り組みの強化 | <ul style="list-style-type: none"> 貸室、展示場、会議室の利用促進に関する新たな取組みの検討、実施 ・貿易センタービル: 市内企業等のソフトウェア開発支援施設の整備(予定)、会議室長期利用割引キャンペーンの実施、Web予約の検討など ・ファッションmart: オフィス誘致の駐車場2年間無料キャンペーンの実施 店舗誘致の神戸初出店サポート制度の実施 イベント誘致のアトリウムプラザ連続割引キャンペーンの実施 | | | | | | | | | | 次年度の取り組み検討 | | |
| | 電子決裁システムの検討 | | | | | | | | | | | | 試行実施 |
| IT活用等による業務の効率化 | 電子請求書の試行実施(ファッションmart)・本格導入の検討(全社) | | | | | | | | | | | | |
| | 会議室のWeb予約の検討、キャッシュレス決済の実証実験の実施(貿易センタービル)再掲 | | | | | | | | | | | | |

■ ミッションを踏まえた団体目標

| | | |
|----------|--|---|
| 目標及び実現方法 | 目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社員一人当たり税引前当期純利益15 百万円の確保 (R3～R7の平均値) ・ 平均入居率 (貿易センター94.3%、ファッションマート82.5%) ・ 年間利用件数 (貿易センター会議室870件、ファッションマート展示場770件、会議室370件) ・ 顧客サービスの向上 ・ 社員の生産性の向上 ・ 働き甲斐のある職場環境の実現 |
| | | ・ オフィス優遇制度 (当社独自の共益費の減免) を活用した市外からのテナント誘致 |
| | | ・ インターネット・SNS等を活用した貸室・展示場・会議室の情報発信の充実 |
| | | ・ 空き貸室・展示場・会議室の有効活用 (暫定利用含む)、ニーズに応じた料金等の弾力的な運用 |
| | | ・ 成長段階に応じたベンチャー支援と館内定着の促進 |
| | | ・ 安全・安心・快適なビジネス空間に向けた計画的な施設改修 |
| | | ・ 経常経費の節減、工事の優先順位と工事費の精査 |
| | | ・ 既存業務の執行体制の見直しとITシステムの活用 |
| | | ・ 給与体系 (人事評価制度、定年延長含む) などの勤務条件統一案の検討 |
| | ・ 人材育成施策 (インセンティブ制度、施設間の人事交流のあり方等) の検討 | |

■ 市支援策の活用状況 (令和5年度)

| | | | |
|--|--------------------------------|--|----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口 | <input type="checkbox"/> 経営懇談会 | <input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修 | <input type="checkbox"/> 民間代替性調査 |
| <input type="checkbox"/> 専門家紹介制度 | <input type="checkbox"/> 経営診断 | <input type="checkbox"/> 企業統治状況調査 | |

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（1）中長期的ミッションの達成状況

・『社員一人当たりの税引前当期純利益15百万円、全社員30人で4.5億円の確保(KPI)』では、大型テナントの退去等があったものの、貸室・展示場・会議室の利用拡大に取り組むとともに、経費の精査等により全社で5.2億円を確保。これにより、安全・安心・快適なオフィス環境等の提供に資する施設改修、DX関連投資、株主配当などに寄与することができた。

・『公益貢献(地域活性化含む)の取り組み強化』では、株主配当総額3千万円を行い、5期連続の配当となった。神戸市などと連携した新たな産業振興施設である「Microsoft AI Co - Innovaion Lab」（令和5年10月開設）を貿易センタービルに整備した。また、「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」（新規）や「神戸ルミナリエ」（復活）への協賛の他、六甲アイランドの賑わいづくりのため、「日展・神戸展」及び「六甲アイランド・アートフェア」（継続）への協賛と会場提供及びイベント開催に協力した。

・『勤務条件の見直しと人材育成の目標』では、貿易センター、ファッションマートの給与等のR7年度統一化に向けて、引き続き勤務条件のすり合わせなどを実施した。人材育成では、風通しの良い職場づくりも兼ねて、社長・常務と全社員のランチミーティングや社員によるグループ討議・社員提案を継続実施した(社員提案のうち、貿易センターでは令和6年4月から個室型ワークブースを設置)。情報セキュリティ研修(新規)を実施するとともに、神戸市主催の外郭団体職員向け研修等に積極的に参加した。

（2）短期的ミッションの達成状況

・『新たな顧客獲得に向けた取り組み強化』では、貿易センターでは、「Microsoft AI Co - Innovaion Lab」開設を周知し、ビル知名度向上に努めるとともに、貸会議室のキャッシュレス決済の実証実験や「連続長期利用割引制度」を新設した。ファッションmartでは、「オフィス優遇制度」や「神戸初出店サポート制度」等によるテナント誘致、及び9階貸会場の高速・専用ネット回線充実やアトリウムプラザ連続利用割引等によるイベント誘致を行った。

・『IT活用等による業務の効率化』では、社内DXを計画的に進めていく中で、適格請求書等保存方式（インボイス制度）に対応した電子請求書の試行実施(ファッションmart)、給与計算システムのクラウド化、給与・賞与明細書及び源泉徴収票の電子配付を導入するとともに、電子決裁システムの導入に向けた準備(トライアル含む)を行い、業務効率の向上とペーパーレス化の取り組みを進めた。

（3）市政への貢献・市民への還元状況

・貿易センタービルでは、神戸市などと連携し、AI・IoTを活用した産業振興施設「Microsoft AI Co - Innovaion Lab」の整備に取り組んだ。ファッションmartでは、日展・神戸展開催イベント「六甲アイランド・アートフェア」（こうべ市民美術展・六甲アイランド美術展・兵庫県書作家協会秀抜展・まちなかミニライブ(ヴァイオリンとソプラノ演奏、音楽×バレエの祭典、六アイ MUSIC FESTIVAL)）に実行委員会のメンバーとして参画し、備品の貸し出しや会場の提供など積極的に協力した。毎年恒例のニューイヤーセールにおいて、ラジオ番組の公開生放送の実施やアトリウムプラザのイベント閑散期に休憩スペースを開設するなど施設の利用機会の増加を図った。また、六甲アイランド地域振興会の幹事会社として、各種島内イベントにも積極的に協力し、地域の賑わい創出に取り組んだ。

・神戸市に対しては、株主配当(15百万円)、ファッションmart施設維持負担金(1億円)の拠出を継続して実施した。

■外郭団体マネジメント推進本部の評価

(1) 総合的意見

中長期的ミッション、短期的ミッションともに着実に進めている。
 また、ミッション達成に向けた団体独自の目標に関して、一部未達成はあるものの、その他の目標については達成している。
 加えて、市への貢献や市民への還元についても積極的な取り組みを着実に進められている。令和5年度の取り組みを踏まえて、ミッション達成を期待する。

(2) 数値目標の状況

| 評価項目 | 評価・指導 |
|----------------|---|
| 中長期的ミッション | 貸室や展示場等の利用が拡大しており、KPIを達成している。また、世界パラ陸上、神戸ルミナリエへの協賛や地域の賑わいづくりにも積極的に参加することで公益貢献にも寄与している。勤務条件の見直しと人材育成に関しては、貿易センター、ファッションマートの職員の給与等のR7年度統一化に向けた勤務条件のすり合わせなどの実施や、新しく情報セキュリティ研修を実施するなど、着実に取り組みを進めている。引き続き、ミッション達成に向けて取り組みを進めるとともに、ファッションマーケットにおいて、テナント入居者及び施設利用される市民の方の安全確保のため、施設の安全管理対策について改めて徹底すること。 |
| 短期的ミッション | 新たな顧客獲得に向けた取り組み強化では、「Microsoft AI Co - Innovaion Lab」開設の周知など、ビルの知名度向上に努めるとともに、貸会議室のキャッシュレス決済の実証実験など利便性向上にも取り組んでいる。また、給与計算システムのクラウド化や電子決済システムの導入に向けた準備を進め、業務効率の向上とペーパーレス化の取り組みを進めている。 「Microsoft AI Co - Innovaion Lab」開設の強みを活かし、更なる取り組みの強化に努めること。 |
| 団体目標の達成状況 | 貿易センターの入居率に関しては、大口テナントの退去により目標未達成ではあるものの、その他、ファッションマーケットの入居率や展示場、会議場の年間の利用件数は目標を達成しており、顧客サービス、社員の生産性の向上に取り組んでいる。 引き続き、ミッション達成に向け、積極的な取り組みを期待する。 |
| 市への貢献・市民への還元状況 | 市政への貢献として、産業振興施設「Microsoft AI Co - Innovaion Lab」の整備や株主配当などを実施している。また、市民への還元についても、六甲アイランド地域振興会の幹事会社として、島内イベントへの積極的に参画し、地域の賑わい創出にも取り組んでいる。 引き続き、市政への貢献、市民還元に努めることを期待している。 |

(3) 今後の方向性

- 団体の存廃も含めた検討を要する団体
 継続的な見直しを要する団体
 取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体